

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	2-3-2		事業名	北海道大学連携型起業家施設運営事業	
担当	経済局産業振興部新産業担当課新産業担当係 藤原 Tel 211-2379				
全体計画					
事業内容	<p>○北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会事業 産学官の協働によって北海道大学の北キャンパス周辺エリアにおける研究開発を促進させ、大学等の知的財産を有効活用することによって、新技術・新製品の開発やベンチャー企業・新産業の創出を図ることを目的に設立された本協議会に参画し、負担金を支出する。</p> <p>○北大BI(ビジネス・インキュベーション)支援事業 北海道大学をはじめとした大学等が持つ知的財産と、地域企業が持つ技術力を活用して、新事業の創出・育成をすることを目的とした北大BI(平成20年秋に竣工予定)に対し、北海道とともに入居企業の賃料を応分負担するとともに、北大BIの入居者支援を担当するIM(インキュベーション・マネージャー)を配置する。</p> <p>○R&Bパーク大通サテライト運営事業 北大リサーチ&ビジネスパーク構想の推進のため、市内中小企業の技術開発、新事業展開等の相談に対応するとともに、大学等の知を活用した研究開発及び実用化・事業化への展開を促進することを目的として市内中心部に設置されたR&Bパーク大通サテライトの運営に対して、北海道、北海道経済連合会等と応分の負担金を支出する。</p>		<年度別の事業内容>		
			<p>○平成19年度 R&Bパーク大通サテライト・北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会に対して、北海道、北海道経済連合会等と応分の負担金を支出することにより、北海道大学の北キャンパス周辺エリアにおける研究開発を促進させる。</p> <p>○平成20年度～平成22年度 引き続き、R&Bパーク大通サテライト・北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会に対して、北海道、北海道経済連合会等と応分の負担金を支出することにより、北海道大学の北キャンパス周辺エリアにおける研究開発を促進させる。 加えて平成20年度より、北海道とともに、北大BIの入居企業の賃料を応分負担するとともに、北大BIの入居者の支援・本市との連絡調整役を担当するIMを配置する。</p>		
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)		
	<p>R&Bパーク大通サテライトの運営に対して、北海道、北海道経済連合会等と応分の負担金を支出するとともに北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会に対して負担金を支出した。 北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会に参画することにより、下記の3事業についてその事業化支援を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微細孔径ハニカム膜を用いた製品及び製造装置のビジネス開発 ・キトサン・ナノ繊維を用いた製品および製造装置のビジネス開発 ・極限高洗浄度環境を提供するクリーンユニットシステムのビジネス開発 <p>また、R&Bパーク大通サテライト運営事業においては、4000名以上の利用があり、かつ特許・研究開発等において290件の相談を受けることにより、市内中小企業の技術開発・新事業展開を支援した。</p>		<p>○北大BI(ビジネス・インキュベーション)支援事業 バイオ等の先端産業のベンチャー企業に対する支援を目的として、北海道と北大BI入居企業の賃料を応分負担するとともに、北大BI入居者の支援・本市との連絡調整役を担当するIM(インキュベーションマネージャー)を配置し、企業の育成支援を行った。</p> <p>○北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会事業 ビジネスパーク推進協議会に対して、北海道、北海道経済連合会等と応分の負担金を支出することにより、北海道大学の北キャンパス周辺エリアにおける研究開発を促進させた。</p> <p>○R&Bパーク大通サテライト運営事業 R&Bパーク大通サテライトを活用することにより、市内中小企業の技術開発・新事業展開を支援した。</p>		
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)		
	<p>○北大BI(ビジネス・インキュベーション)支援事業 バイオ等の先端産業のベンチャー企業に対する支援を目的として、北海道と北大BI入居企業の賃料を応分負担するとともに、北大BI入居者の支援・本市との連絡調整役を担当するIM(インキュベーションマネージャー)を配置し、企業の育成支援を行った。</p> <p>○R&Bパーク大通サテライト運営事業 R&Bパーク大通サテライトを活用することにより、市内中小企業の技術開発・新事業展開を支援した。</p>		<p>○北大BI(ビジネス・インキュベーション)支援事業 引き続き、バイオ等の先端産業のベンチャー企業に対する支援を目的として、北海道と北大BI入居企業の賃料を応分負担するとともに、北大BI入居者の支援・本市との連絡調整役を担当するIM(インキュベーションマネージャー)を配置し、企業の育成支援を行う。</p> <p>○北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会事業 ○R&Bパーク大通サテライト運営事業 R&Bパーク大通サテライトを活用することにより、市内中小企業の技術開発・新事業展開を支援する。</p>		
規模					
件数					
等					

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-3-2			事業名	北海道大学連携型起業家施設運営事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
北海道大学特許出願件数	271件	314件	251件	341件	400件	400件	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 北大リサーチ&ビジネスパーク構想を推進するにあたり、有識者より意見を聞いている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]北大BIについて、中小企業基盤整備機構が建設費を負担しており、賃料補助は北海道と応分負担している [人材協力]北大BIについて、中小企業基盤整備機構・北海道・経済界などと連携してIMを派遣している [情報協力]北大BIについて、中小企業基盤整備機構・北海道・経済界等と情報交換をしながら事業を実施している。 [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり ホームページ、冊子、説明会等で広く情報提供を図り、企業等が参加しやすい環境づくりを行っている。</p>							
評価(成果)			課題				
平成20年12月に運用開始となった北大BI入居者に対し、賃料補助及びIM配置を実施し、北大リサーチ&ビジネスパーク構想を推進することにより、バイオ等の先端産業の育成に寄与することが可能となり、大学等で培われている知的財産を活用した新産業の創出を促進することが出来た。			北大ビジネススプリングへの支援事業、北大リサーチ&ビジネスパーク構想に係る事業、また知的クラスター創成事業など個々の事業を有機的に連携させることにより、研究開発機能の集積・産業化をさらに効果的に推進していく必要がある。				
今後の事業の予定・方向							
今後も引き続き、バイオ等の先端産業のベンチャー企業の円滑な事業展開を支援し、北海道大学の北キャンパス周辺エリアにおける研究開発を促進させ、市内中小企業の技術開発・新事業展開を支援していく。							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		2-3-2			事業名	北海道大学連携型起業家施設運営事業		
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	7,650	14,150	22,100	22,100	66,000		
	財源内訳	国・道支出金					0	
		市の債					0	
		その他					0	
		一般財源	7,650	14,150	22,100	22,100	66,000	
予算	事業費	7,650	11,800	12,549	13,902	45,901		
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0	
		市の債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	7,650	11,800	12,549	13,902	45,901	
実績	事業費	6,437	5,088	11,775	-	23,300		
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0		0	
		市の債	0	0	0		0	
		その他	0	0	0		0	
		一般財源	6,437	5,088	11,775		23,300	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					56.4%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
《全体》								
[19年度] 北大BI入居者調査について他機関と連携して実施することで、事業費が抑制され実績が減額								
[20年度] 北大BI支援事業における年度途中での入居、年度途中のIM配置により実績が減額								
[21年度] 予算額とほぼ同額で執行								
[22年度] 賃料負担等が計画に比べて減額になったため予算が減額								